



■一般社団法人 富山県建設業協会
令和4年度 第14回とやま建設フォトコンテスト
〈特選〉【つなく】 笠嶋 富士幸 氏 (撮影場所：富山市)

以前の北日本新聞で、富山駅のLRTは富山ライトレールと将来的に市内電車とつなげる事が前提であったとの事。

この写真からは、南北をLRTで繋ぎ、市民の通勤・通学の足を守るんだという思いと、平日も頑張るぞという熱気が、男性の背中から強く感じられます。

審査委員長 平井 勝美 (富山県写真連盟委員長)



供用開始順の検討 ▶P.22



里山資源再生ハウス ▶P.25



花いっぱい運動 ▶P.27



(一)湯之河内梶屋敷停車場線で実施した竣工式の様子
新潟県 糸魚川地域振興局
地域整備部 道路課
佐藤 菜央 さん ▶P.30



地震発生時の橋台背面の段差発生状況
地震時の段差写真 ▶P.32

視点

2 AIに思うこと

■(一社)石川県建設業協会 副会長
小中出建設(株) 代表取締役 小中出佳津良

地域の動き

地域の安全安心確保に取り組む

3 新潟県北部における令和4年8月豪雨の対応

■新潟県 村上地域振興局 地域整備部

土砂災害に対する防災力の向上を目指して

9 土砂災害防止「全国の集い」in 富山の開催

■富山県土木部砂防課

技術レポート

石動駅周辺の南北の一体的なまちづくり

11 都市計画道路 駅南中央線街路事業について

■富山県高岡土木センター小矢部土木事務所

北陸自動車道 米山トンネル

13 矢板工法トンネルのインバート補強対策

■東日本高速道路(株) 新潟支社 長岡管理事務所

大河津分水路山地部掘削その14工事

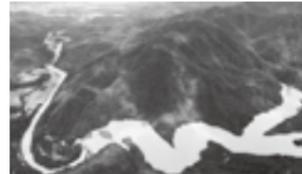
15 山地部掘削で様々な建設DXを導入し、生産性向上に取り組んだ内容の紹介

■(株)廣瀬 土木事業部工事システム管理部 星野 正人

ダム運用と下流環境への影響の少ない浚渫工法

17 高環境型ダム堆砂除去技術「ハイリフト無濁浚渫工法」

■(株)フジタ 土木本部 土木エンジニアリングセンター 機械部 服部 哲也



三面ダム貯留状況 ▶P.3



富山国際会議場メインホール ▶P.9



事業完成後の状況(令和5年3月)
▶P.11



先行施工のインバート設置状況
▶P.13



AR画像での立会状況 ▶P.15



オーガ付吸引機と
中継ポンプユニット ▶P.17

シリーズ 現場技術者の「知得」

22 BIM/CIM関係の最近の動向

■北陸地方整備局 企画部 技術管理課



25 ～「新たな里山再生のモデル」を目指して～ 木場潟公園東園地の整備

■石川県土木部公園緑地課

職場紹介

種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる

27 「道」創りを通して社会に貢献する

■日瀝道路(株) 北陸支店

先輩なう!

30 地域に貢献する土木の仕事

■新潟県 糸魚川地域振興局地域整備部 道路課 佐藤 菜央 さん

新技術情報

NETIS登録技術

■令和5年度登録技術

32 ・ST-MCS工法

【登録番号：HR-230001-A】

世紀東急工業(株)



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。

E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp